



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 フリュー株式会社

コード番号 6238 URL <https://www.furyu.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三嶋 隆

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 財務経理部 部長 (氏名) 藤村 卓 TEL 03 (5728) 1761

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	6,124	3.7	741	△1.2	740	△0.4	499	0.7
2018年3月期第1四半期	5,904	△0.4	750	△39.0	743	△39.9	495	△41.4

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 519百万円 (7.3%) 2018年3月期第1四半期 483百万円 (△36.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	17.64	—
2018年3月期第1四半期	17.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	22,140	16,553	74.8
2018年3月期	22,857	16,883	73.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 16,553百万円 2018年3月期 16,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△1.5	2,500	1.9	2,500	1.1	1,740	0.9	61.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	28,296,000株	2018年3月期	28,296,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	192株	2018年3月期	192株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	28,295,808株	2018年3月期1Q	28,295,808株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年6月30日）におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景とした緩やかな回復傾向がみられるものの、米国政権の保護主義的な政策による貿易摩擦の懸念等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のこころを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する！」のもと、プリントシール事業の拡大、若年女性層の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、IP（知的財産）を軸としたキャラクター価値の最大化に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高6,124百万円（前年同期比103.7%）、営業利益741百万円（前年同期比98.8%）、経常利益740百万円（前年同期比99.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は499百万円（前年同期比100.7%）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(プリントシール事業)

プリントシール事業におきましては、2018年6月に新機種「PINKPINKMONSTER（ピンクピンクモンスター）」を発売いたしました。また、キャンペーン等の販促活動や、直営店「girls mignon（ガールズミニオン）」の新規出店等を積極的に行い、プリントシール機全体としてのプレイ回数は堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,017百万円（前年同期比104.2%）、営業利益は252百万円（前年同期比128.2%）となりました。

(コンテンツ・メディア事業)

コンテンツ・メディア事業におきましては、プリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」の入会促進施策と継続利用促進施策に取り組み、2018年6月末における有料会員数は159万人となりました。WEBマガジンやメール広告「プリアドメール」、カラーコンタクトレンズの販売等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,105百万円（前年同期比100.7%）、営業利益は1,043百万円（前年同期比96.6%）となりました。

(キャラクタ・マーチャндаイジング事業)

キャラクタ・マーチャндаイジング事業におきましては、多数の新規キャラクター版権の獲得とその商品化を行いました。前期主力商品を上回る版権の獲得に至らず、前年度の売上を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,059百万円（前年同期比96.4%）、営業利益は45百万円（前年同期比80.0%）となりました。

(ゲーム事業)

ゲーム事業におきましては、PlayStation®4向けオリジナルタイトル「Caligula Overdose/カリギュラ オーバードーズ」の発売や、人気TVアニメ「ゆるキャン△」のBlu-ray・DVDの発売等により売上を伸ばしました。また、スマートフォン向けゲームを中心として、開発費や広告宣伝費等の費用の見直しを進めた結果、営業損失は前年同期に比べ縮小いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は844百万円（前年同期比129.3%）、営業損失は145百万円（前年同期 営業損失239百万円）となりました。

(その他)

その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は98百万円（前年同期比78.3%）、営業利益は18百万円（前年同期比56.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が22,140百万円、負債が5,587百万円、純資産は16,553百万円となりました。また、自己資本比率は74.8%となりました。

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ716百万円減少し、22,140百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末比529百万円の減少）、流動資産の「その他」に含まれる未収入金の減少（前連結会計年度末比311百万円の減少）、有形固定資産に含まれるリース資産の減少（前連結会計年度末比201百万円の減少）によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ387百万円減少し、5,587百万円となりました。これは主に流動負債の「その他」に含まれる未払費用の減少（前連結会計年度末比438百万円の減少）によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ329百万円減少し、16,553百万円となりました。これは主に配当金の支払による利益剰余金の減少（前連結会計年度末比349百万円の減少）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,470,684	11,364,802
受取手形及び売掛金	4,046,105	3,516,933
電子記録債権	765,860	973,497
たな卸資産	1,248,362	1,591,398
その他	1,043,708	649,873
貸倒引当金	△4,421	△2,929
流動資産合計	18,570,300	18,093,576
固定資産		
有形固定資産	2,470,775	2,245,482
無形固定資産	260,187	281,865
投資その他の資産		
その他	1,569,780	1,533,201
貸倒引当金	△13,233	△13,233
投資その他の資産合計	1,556,546	1,519,967
固定資産合計	4,287,509	4,047,315
資産合計	22,857,809	22,140,892

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	741,584	823,099
電子記録債務	1,523,031	1,439,277
未払法人税等	297,282	254,426
賞与引当金	5,667	212,871
返品調整引当金	130,325	119,551
その他	2,475,722	1,915,888
流動負債合計	5,173,613	4,765,116
固定負債		
退職給付に係る負債	790,283	811,513
その他	10,720	10,720
固定負債合計	801,004	822,233
負債合計	5,974,617	5,587,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,216	1,639,216
資本剰余金	1,639,216	1,639,216
利益剰余金	13,713,813	13,364,193
自己株式	△178	△178
株主資本合計	16,992,066	16,642,446
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△19,028	△536
退職給付に係る調整累計額	△89,846	△88,367
その他の包括利益累計額合計	△108,874	△88,904
純資産合計	16,883,191	16,553,541
負債純資産合計	22,857,809	22,140,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	5,904,452	6,124,696
売上原価	2,531,927	2,694,624
売上総利益	3,372,524	3,430,072
販売費及び一般管理費	2,622,015	2,688,836
営業利益	750,509	741,235
営業外収益		
債務整理益	258	72
受取和解金	—	9,259
その他	182	185
営業外収益合計	440	9,516
営業外費用		
支払利息	190	152
為替差損	3,871	7,398
持分法による投資損失	3,582	3,194
その他	0	0
営業外費用合計	7,644	10,745
経常利益	743,306	740,006
特別利益		
固定資産売却益	—	207
特別利益合計	—	207
特別損失		
固定資産除売却損	664	5,538
特別損失合計	664	5,538
税金等調整前四半期純利益	742,641	734,676
法人税等	246,756	235,421
四半期純利益	495,885	499,254
親会社株主に帰属する四半期純利益	495,885	499,254

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	495,885	499,254
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△13,125	18,491
退職給付に係る調整額	1,228	1,478
その他の包括利益合計	△11,896	19,970
四半期包括利益	483,988	519,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	483,988	519,224
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	1,935,077	2,091,176	1,099,219	652,914	5,778,387
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-	-
計	1,935,077	2,091,176	1,099,219	652,914	5,778,387
セグメント利益又は損失(△)	196,880	1,079,881	56,978	△239,985	1,093,756

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	126,064	5,904,452	-	5,904,452
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-
計	126,064	5,904,452	-	5,904,452
セグメント利益又は損失(△)	33,133	1,126,889	△376,380	750,509

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△376,380千円には、全社費用△378,330千円、セグメント間取引1,950千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	2,017,209	2,105,184	1,059,381	844,264	6,026,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,017,209	2,105,184	1,059,381	844,264	6,026,039
セグメント利益又は損失(△)	252,434	1,043,270	45,597	△145,597	1,195,704

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	98,657	6,124,696	-	6,124,696
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	98,657	6,124,696	-	6,124,696
セグメント利益又は損失(△)	18,823	1,214,527	△473,292	741,235

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△473,292千円には、全社費用△475,242千円、セグメント間取引1,950千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。